

学校・家庭・地域ではぐくむ 中央っ子の学力

～2021年度 全国学力・学習状況調査から見えてきたこと～

一人ひとりの子どもの「確かな学力」をはぐくむために、調査結果から明らかになった課題を学校・保護者（家庭）・地域が共有し、それぞれの立場でできることに取り組むために、本資料を作成しました。

全国学力・学習状況調査とは・・・

1. 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。



2. 実施日・調査対象

令和3年5月27日（木）、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に実施。

3. 調査の内容

①国語 ②算数 ③児童質問紙（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する内容）

4. 全国学力・学習状況調査から見えてきたこと

1 中央っ子の「国語」の力

身につけている力

- ◎漢字を読んだり書いたりする力。
- ◎思考に関わる語句を理解して使う力。
- ◎目的に応じて情報をとらえる力。



さらに身につけたい力

- ★事実と感想とを区別する力。
- ★資料を用いた目的を読み解く力。
- ★複数の条件をふまえて考えを書く力。



2 中央っ子の「算数」の力

身につけている力

- ◎グラフから数量を読み取る力。
- ◎立式して、正しく計算する力。



さらに身につけたい力

- ★データを表に分類整理する力。
- ★複数の情報を関連付けて数学的に表す力。
- ★算数用語を用いながら表現する力。

3 中央っ子の「学習と生活」の姿

身につけている力

- ◎困っている人を助けることや、いじめの認識についての意識が育っている。
- ◎ICT 機器の使用率が高く、学習に役立つという実感を持っている。

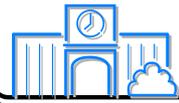


さらに身につけたい力

- ★「早寝、早起き、朝ごはん」の生活習慣。
- ★自分で計画を立てて学習に取り組む力。
- ★「自分にはよいところがある」「失敗を恐れなくて挑戦する」といった自己有用感。
- ★読書に親しむ姿勢。



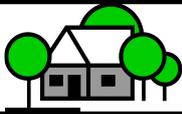
「教科に関する調査」結果と「生活習慣や学習環境等に関する調査」結果より、生活習慣・学習環境と学力は関連があることがわかってきています。



今後学校で力を入れる取組



- 「やってみたい」「考えてみたい」と意欲的に取り組めるような、課題解決型、課題追求型の授業づくりに努めます。
- 根拠や理由を明確にしながらか自分の考えを記述する機会を多く設けます。
- 条件（大切な言葉を遣う、字数制限など）を踏まえて書く機会を増やします。
- いろいろな考え方があることを認めたり、自分のよさや友達のよさに気付いたりできる人権が尊重される学習の場づくりをします。
- 友達同士で学び合う場（ペア学習やグループ学習など）を設定し、他者と自分の意見について比べ、それをもとにして自分の考えを深める機会を設けます。
- 記述式の問題や発展的な内容の問題に取り組み、様々な考えを交流しながら理解を深める活動を設定します。
- スキルタイムで、国語の漢字や算数の計算など、基礎的な学力の向上に取り組みます。
- 全職員で協同して、ユニバーサルデザインの視点に立った個に応じた支援を工夫します。
- 図書館を積極的に利用し、読書に親しむ環境づくりを行います。



家庭でできること

- 「早寝、早起き、朝ごはん」の生活習慣を身につけさせましょう。
 - 学校や地域の話題について話をしましょう。
 - 地域行事に積極的に参加させましょう。
 - 家庭学習の習慣を身につけさせましょう。子どもの頑張りを認め、つまずきが見られたら声かけをしましょう。※別途資料をご覧ください。
 - 読書習慣をつけるために、子どもと一緒に本に親しみましょう。
 - テレビ・ゲームの時間を決めるなど、「家庭の約束」をお子さんと一緒に作りましょう。
- ※ 丹波市教育委員会のホームページには、「家庭学習のチカラ」「わが家のひと工夫」も掲載されていますので、ご家庭でのお子さんへのかかわりの参考にご活用下さい。



自律し、しっかりとした思考力・判断力を持つ子どもに育てるために、学校・家庭・地域が協力していきましょう。